



2014年12月期第2四半期決算概要

(2014年1月1日～6月30日)

ハイブリッド・サービス株式会社

2014年8月20日

2014年12月期第2四半期 決算概要

01 | 事業環境・方針

－ 市場環境 －

消費税増税前の駆け込み需要とその反動
全体として企業収益や雇用情勢は改善
個人消費についても持ち直しの動き

－ 第29期方針 －

■ 事業の選択と集中

- 100%子会社の売却
- メガソーラー建設用地の取得
- 資金ポジション改善を目的とした取引見直しの実施

景気は緩やかな
回復基調で推移

反省点

2009年から続いた利益重視
の戦略により内向的施策に終
始し、徐々にシェアを失い、
同時に仕入交渉力も衰えた。

競合他社からのシェア奪還を最優先事項に方針転換

02 | 連結損益（前期比）

[単位：百万円]

	2013/12期 第2四半期	2014/12期 第2四半期	増減
売上高	10,140	8,298	▲18.2%
営業利益	▲25	▲129	—
経常利益	▲41	▲146	—
当期利益	▲28	▲198	—
1株当たり 当期純利益	▲5.85 円	▲40.71 円	—

ポイント

- 子会社の譲渡、連結対象からの除外による売上・利益の減少
→年初に、東京中央サトー製品販売株式会社の全株式を譲渡、第一四半期より連結の範囲から除外
売上▲507 営業利益 ▲5
- 環境事業において資金ポジションの改善を目的とした取引見直しを実施
売上▲622 営業利益+18
- マーキングサプライ事業において想定を上回る税率改定駆け込み需要の反動
売上▲596 営業利益▲65
- ファシリティ関連事業において前年同期にあった大口案件がなかったことから
売上▲201 営業利益▲23

03 | 連結損益（計画比）

[単位：百万円]

	2013/12期 第2四半期	当初計画 2/8公表	増減
売上高	8,298	10,100	▲17.8%
営業利益	▲129	44	—
経常利益	▲146	16	—
当期利益	▲198	30	—
1株当たり 当期純利益	▲40.71円	6.14円	—

ポイント

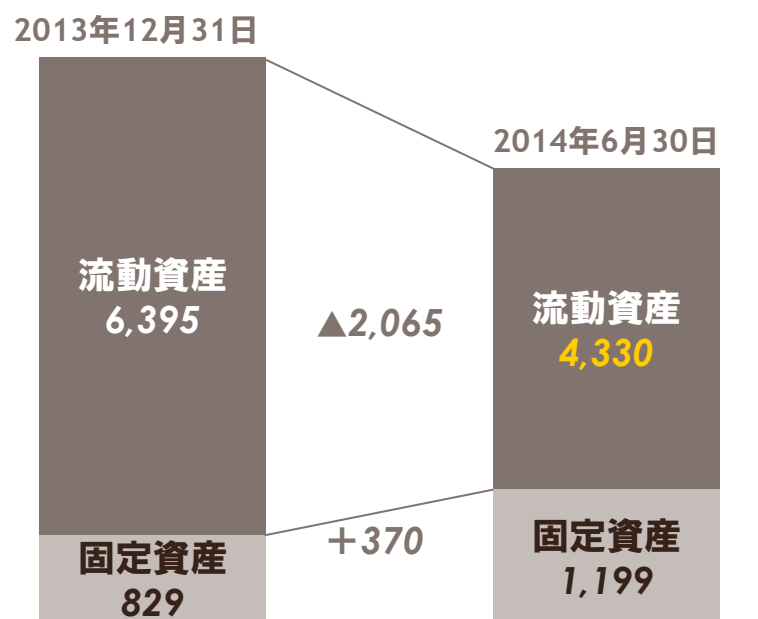
- マーケティングサプライ事業において想定を上回る増税前駆け込み需要の反動 売上▲934 営業利益▲121
- 環境事業において資金ポジションの改善を目的とした取引見直しを実施 売上▲694 営業利益 ▲4

04 | 連結貸借対照表

ポイント 売上債権の減少、土地の取得、仕入債務・借入金の減少

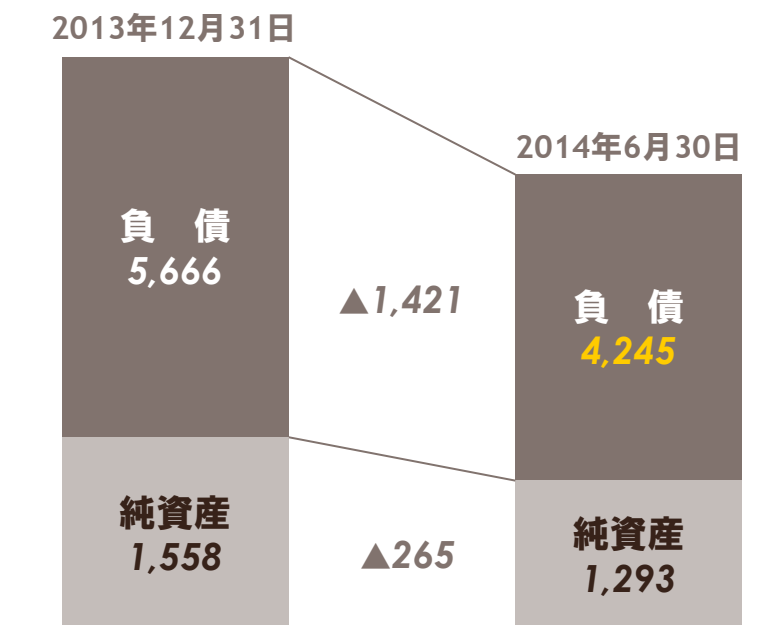
[単位：百万円]

■ 資産の部



- 売上債権の減少 ▲1,551
- 現金及び預金の減少 ▲436
- 土地の取得(残金) +452

■ 負債・純資産の部

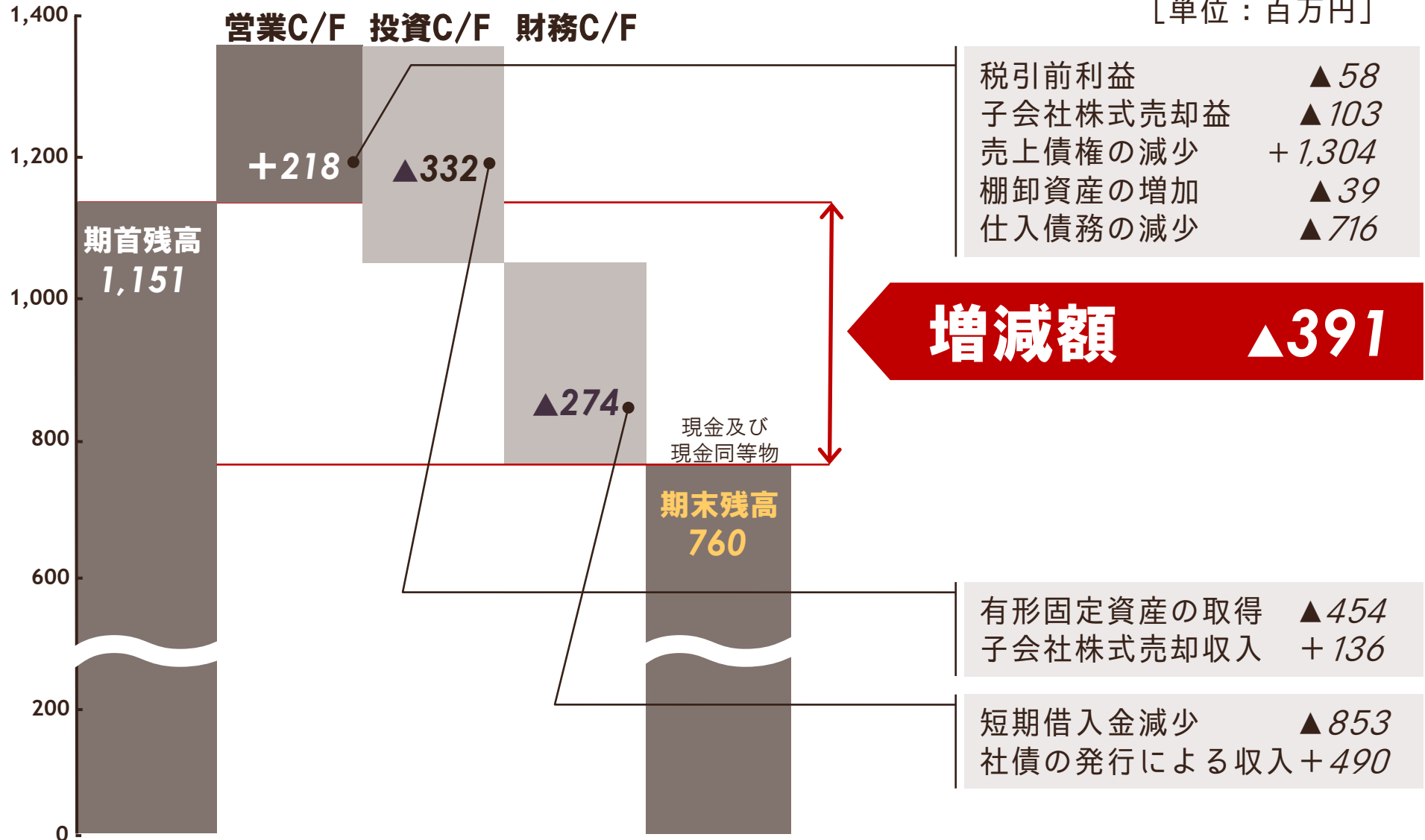


- 仕入債務の減少 ▲1,162
- 借入金の減少 ▲265
- 利益剰余金の減少 ▲199

05 | 連結キャッシュ・フロー

ポイント 営業活動により資金獲得、投資活動・財務活動で使用

[単位：百万円]



06 | 事業のセグメント別概況

東京中央サトー製品販売(株)の売却、資金ポジションの改善を目的とした取引の見直しにより、売上・セグメント利益ともその他の事業において大幅に減少。

		2013/2Q	2014/2Q	増減額	[単位：百万円]
マーケティングサプライ事業	売上	7,506	6,910	▲596	長らく続いた利益重視の戦略により、徐々に競合他社にシェアを奪われ、増税前駆け込み需要を十分に獲得しきれないまま、その反動の影響をうけ売上高が減少。
	セグメント利益	154	90	▲65	
ファニチャー事業	売上	434	437	+4	在庫リスクの無いOEM供給等に軸足を移動し利益確保を図るも東南アジアでの反中デモの影響を受け商品供給が遅れ売上高は微増に留まる。
	セグメント利益	▲34	▲26	+8	
不動産関連事業	売上	—	30	+30	案件ベースでの不動産販売・コンサルティングを行い、第2四半期で販売費及び一般管理費が増加したことにより営業損失を計上
	セグメント利益	—	▲19	▲19	
その他の事業	売上	2,217	922	▲1,295	100%子会社の売却、資金ポジション改善を目的として太陽光発電システムの販売先の見直しを行ったことにより、売上高が減少。
	セグメント利益	10	▲8	▲19	

2014年12月期の見通し

07 | 2014年12月期 業績予想

競合からのシェア奪還・新規事業の収益拡大

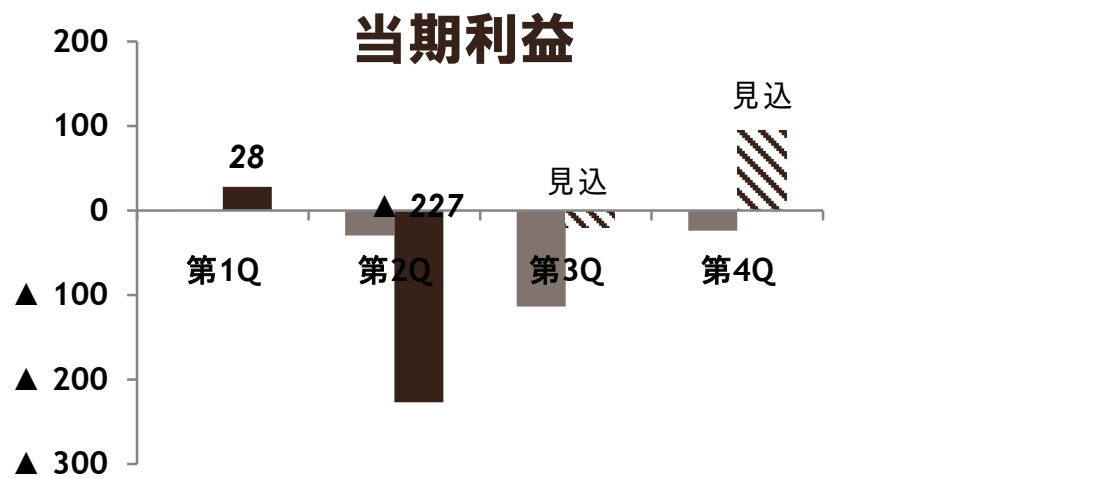
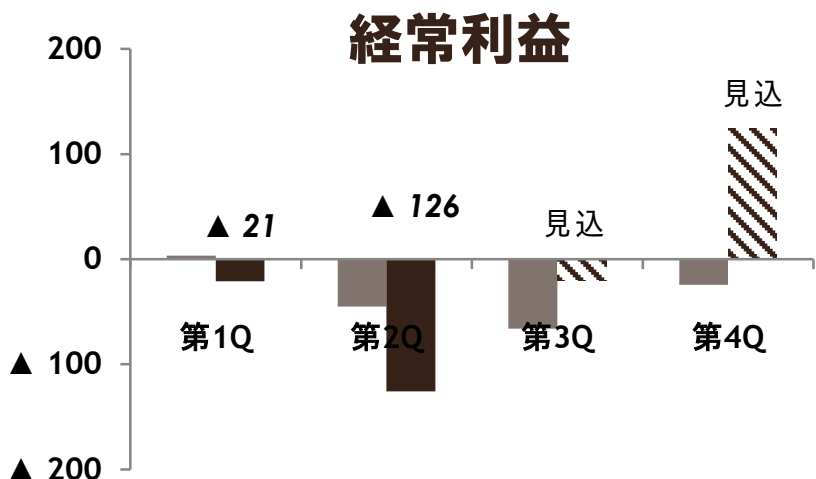
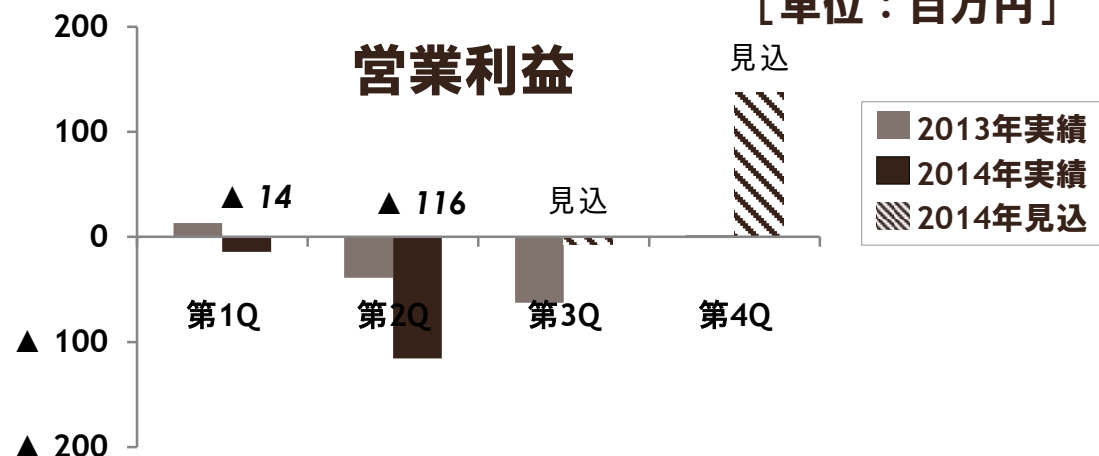
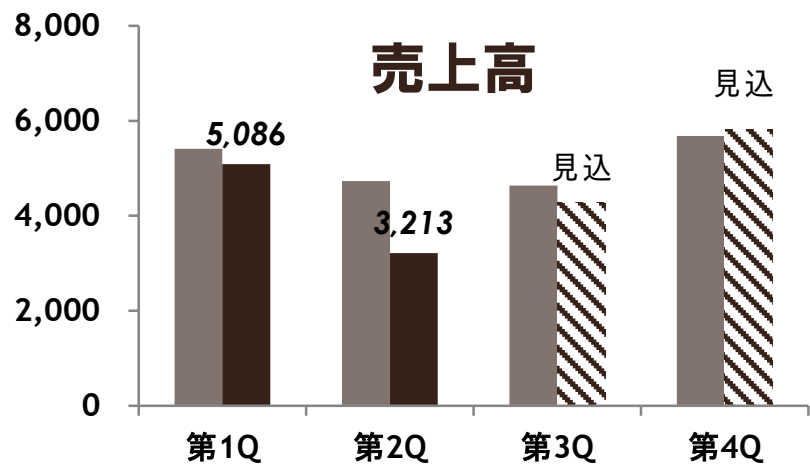
[単位：百万円]

通 期	前年実績	当初予想 5.14公表	修正予想 8.11公表	前年比
売 上 高	20,462	21,000	18,400	▲10.1%
営 業 利 益	▲86	167	2	—
経 常 利 益	▲131	111	▲42	—
当 期 利 益	▲165	88	▲124	—
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	▲33.96 円	18.01 円	▲25.37 円	+8.59 円

ファニチャー・不動産関連等の新規事業での仕掛中の取組の成果、年末の需要期におけるマーケティングサプライ事業での売上高の増加が業績に貢献する見通しながら、当第2四半期累計期間の減少分を補うこと困難であり、8/11に通期業績見通しを修正。

08 | 四半期推移

[単位：百万円]



上期

東京中央サトー製品販売の全株式売却（連結対象から除外）による売上・利益の減少。環境事業において資金ポジションの改善を目的とした取引見直しを実施したことにより売上高が減少。また、マーキングサプライ事業において想定を上回る増税前駆け込み需要の反動により売上・利益が減少。

下期

ファニチャー事業・不動産関連事業の仕掛中の取組が第4四半期に成果が見込めること、競合他社からのシェア奪還により、年末の需要期におけるマーキングサプライ事業での売上高の増加が業績に貢献する見通し。

IR窓口

■ 所在地

〒104-0033

東京都中央区新川1丁目3番17号

新川三幸ビル6F

■ 担 当：経営企画室

Tel : 03-6731-3414

Fax : 03-6731-3413

Mail : ir@hbd.co.jp

注意事項

- ・この資料には、ハイブリッド・サービス(株)の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- ・これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基く見込です。
- ・また経済動向、市場需要、為替変動、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も含んでおります。実際の業績は当社の見込とは異なることもあります。